

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		よい子のお家ばしよ				公表日	R 8年 1月 26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	2	・音等の刺激に対して退避できるスペースがあればより安心して過ごせると思う ・利用人数が多いため狭く感じる ・利用児童が多く成り年齢もバラバラのためスペースが手狭に感じる	今後とも改善点が無いかのどの視点を絶やさず最適な環境整備に努めていきたい	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	12	2	・余裕をもって配置されていると感じる ・プレールームの職員が少ない時がある ・多種の児童がいるため職員の負担が大きいのでは	送迎等による瞬間的なミスマッチを出来る限り排除し、適正な療育を確保できるように望みたい	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	2	・学習する児童に対する刺激が多いので配慮が必要 ・段差も少なくトイレには手摺りもついているため配慮がされていると思います	訓練室の広さはどこまでが十分であり、どこまでが足りないとの印象は線引きが難しいのが現状ではあるが、児童の活動内容に沿った空間確保を求めていきたい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	1	・ボールで遊びたい児童、ソフトブロックで遊びたい児童が共用できないので、空間の使い納得しやすい指示等は工夫を要する ・宿題や作業をする姿勢を考えるとイスに座って行こうスタイルが望ましい	感染症予防のためにも衛生的な取り組みは徹底していく必要がある	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1	・個別の部屋はないと思う。職員室にいれる ・クールダウンする空間がある ・状況によって事務所や目の届かない工夫をしてクールダウン出来るよう配慮できるようになっているかと思います	今後とも改善点が無いかのどの視点を絶やさず最適な環境整備に努めていきたい	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1	・職員会議等で共有している情報に於いてすべてを把握理解し振り返りはできていないので自助努力が必要と感じる ・全職員がPDCAサイクルに参画している	職員全員に意見を求めてその結果のPDCAとなるように努力を図りたい	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	1	・保護者向け評価表の存在を知らない。協力出	今後は当該評価結果をHPに掲載し、その浸透を図りたい	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	1	・会議の際に意見を出せる場になっていると思	より一層努力を怠らない様に努めたい	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	3	・虐待防止委員会等の外部評価に対して職員個々に確認し共通認識できる場合は必要だと思う ・第三者の評価したものがわからないのです	第三者の外部評価は取り入れておらず、今後の課題としたい	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	14	1	・この事業所で役立てる研修や、取れる資格は	より一層努力を怠らない様に努めたい	

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		よい子のお家ばよう				公表日	R 8年 1月 26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14		・個別支援計画等、職員間での密の情報共有は	R 6.12に作成、公表はされているが周知が徹底していないので改めて周知を図りたい	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13		・保護者面談や保護者会必要に応じてline等で連絡を取っているため、悩み等に合わせた計画をできるのではと思っています	より一層努力を怠らない様に努めたい	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14		・会議でのモニタリングの際に共有してそれぞれの意見を出し合っているためできています	主となる職員の参加ばかりではなく係わっていく全ての職員の意見が反映するように努めたい	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13		・共有はされていますが、計画に沿った支援ができていないのはわかりません	より一層努力を怠らない様に努めたい	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	2	・児童の日々の変化、成長は確認するように努力しているが“HUG”のシステムのように細かく数値化はできていない ・標準化されたツールを用いることは児童の特性を考えると難しい	標準化したツールの適用には至っていないが定型化したモニタリング用紙やケースファイル用紙に適宜状況を記載し、職員全員が情報の把握が可能となるように務めていく	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	1		より一層努力を怠らない様に努めたい	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13		・個々の状況に応じて孤立し易い児童と、他児との制作に繋げる等、職員間で共有の認識を持ち協力して行っている	日常的なコミュニケーション不足がこのような意見となって表れていると考えれば、多くの職員の意見が表出されそれに基づいた活動が図られるようにしたい	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	1	・ミーティングをして新人の意見も取り入れる ・日々の業務に追われ、固定したプログラムさえ出来ていないと思う	日々の活動に流され、マンネリズムに陥りがちになっているため、何が児童にとって必要かを再考していきたい	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	1		概ねそのような活動を基本として行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14		・共有するようにしているが役割分担はできていない ・毎日ミーティングを行い、職員間で情報を共有している	より一層努力を怠らない様に努めたい	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	1	・児童のその後等を共有はしているが振り返り、次の一手立案に迄はなっていない ・各々が気が付いたことを記録し、次の日のミーティングで共有する	業務終了後の振り返りや見直しは時間の許す限り行っているが、帰宅を急ぐ職員も相当数あるのが現状であり、その点をカバーするために必要事項はケースファイルに翌日記入	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14		・児童の変化、気づいた点はケースとして残しているが検証迄はできていない ・ケースに記入したり、お帳面にて気になる事があった場合はコピーをして残し、ミーティングにて共有されているためできています ・半年に一度モニタリングを行っている	より一層努力を怠らない様に努めたい	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14			より一層努力を怠らない様に努めたい	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11	1	・自立支援や創作活動は日々行っているが、地域交流の機会提供がすべての児童に行えているわけではない	ほぼ行えていると考えている	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	1	・余暇の提供の中でも自己選択、決定の機会が持てるようにしている ・子どもの自己選択はさせたいが場所、時間、人員が足りない	自己実現、自己選択の概念は相当複雑であるため何が正解であるかは分からないが、児童の成長をめざして頑張りたい	

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		よい子のお家ばしよ			公表日		R 8年 1月 26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14				より一層努力を怠らない様に努めたい	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1	・医療、保育との直接連携があるかまでは理解	学校以外の機関との連携はなかなかむづかしく、医療機関などとの連携は特別な児童でなければ実現する事が難しい		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	14				教育（学校）との連携は基本であり、日々の情報共有を欠かさない姿勢を常に保持し、学校側との定期的な面談も実施するように努力	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	2	・就学前で不安な親御さんがいるので、体験や見学、イベントなどがあると良い	相談支援事業所の利用計画書を通して把握に努めている		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	1	・移行後の連携は把握できていません	現在、該当者が存在しないが、求められれば提供することは吝かではない		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	2		センターが行う研修等には積極的に参加を図っている。また事業に応じた連携を行っている		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	3	・こども食堂等、地域児童への呼びかけはあるが交流までとはなっていない	今後の課題ではあるが、地域の学校との交流会が持てればと考えている		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	1	・開催、参加は把握できていません	出席の要請があれば応えることにしている		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15		・気になる事や伝えなければいけないことは、送迎時や電話、LINEを利用して伝えられていると思います ・正職員間では伝え合いが出来ていると思うが、パートまでは伝えていない	より一層努力を怠らない様に努めたい		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	3	・保護者会でお話を伺う際に自身がペアレントトレーニングの研修を受けているととてもよいと思う ・働いている親御さん、いろいろな事情を抱えており、難しいと思う	家族・保護者への支援は日常に於いて、また定期的な会議等を設けて行っているが、より一層充実した実りのある支援を心がけたい			

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		よい子のお家ばしよ			公表日		R 8年 1月 26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	1		より一層努力を怠らない様に努めたい		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13			より一層努力を怠らない様に努めたい		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14			より一層努力を怠らない様に努めたい		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14			より一層努力を怠らない様に努めたい		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	13	1	・こちらから保護者会を開催しても、参加する保護者が少ない。交流を希望している親御さんもおられると思うが機会作りが難しい	保護者会開催は定期的に行っているが、出席者が少なく悩んでいる。開催曜日や時間帯等を工夫しながら保護者の方に喜んでいただける企画をしたい。 またきょうだいに対する交流会は行はれていないので今後の課題として取り上げていきたい		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15		・現場に入っている職員に言いづらいことがあると思うので、外部にも窓口を設けたらどうか？	より一層努力を怠らない様に努めたい		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	14		・ホームページ、インスタ等への活動を掲載している	より一層努力を怠らない様に努めたい		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14			より一層努力を怠らない様に努めたい		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14		・直接話すことが苦手な方もおられるので、定期的にアンケートなどをしてみたらどうか？	環境整備に努力していきたい		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	3		地域施設への訪問を行い、高齢者と交流を行っている。 また地域の野菜収穫に招いて頂き、食育の面でも指導支援に結び付けたい		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		よい子のお家ばしよ				公表日	R 8年 1月 26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13			より一層努力を怠らない様に努めたい	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14			より一層努力を怠らない様に努めたい	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15		・アセスメントを行っている	より一層努力を怠らない様に努めたい	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15			より一層努力を怠らない様に努めたい	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13			より一層努力を怠らない様に努めたい	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13			H Pに掲載し周知を図っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15		・その都度対応を行っている	より一層努力を怠らない様に努めたい	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15			より一層努力を怠らない様に努めたい	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14			より一層努力を怠らない様に努めたい	